

ひょうごけん ちくさがわ さようがわ
兵庫県 千種川・佐用川等の浸水被害対策に着手！

～ 河川災害復旧助成事業（助成事業）・河川災害復旧等関連
緊急事業（復緊急事業）を採択～

平成 21 年 8 月の台風第 9 号により甚大な被害が発生した千種川水系において、助成事業・復緊急事業を採択しました。今年から 5 年間で兵庫県が事業を実施し、床上浸水被害の概ね解消を図ることとなります。

（参考）

助成事業の概要【千種川、佐用川、大日山川、庵川】

台風第 9 号出水により被災した河川について、河川断面の拡幅、堤防の嵩上げ、護岸等の改良復旧を実施し、床上浸水被害の概ねの解消を図るものです。

事業主体	兵庫県
事業区間	合計 38.64 km
千種川	10.97 km
佐用川	17.91 km
大日山川	2.76 km
庵川	7.00 km
事業内容	河道掘削、築堤、護岸、橋梁、井堰等
事業期間	平成 21 年度～平成 25 年度の 5 ヶ年間
採択事業費	約 300 億円

復緊急事業の概要【千種川】

上流で実施される助成事業により流量が増加するため、助成事業区間より下流の流下能力が不足している千種川において、河川断面の拡幅、堤防の嵩上げ、護岸等の施工を行い、助成事業区間との河川整備バランスを確保するとともに、当該事業区間での床上浸水被害の解消を図るものです。

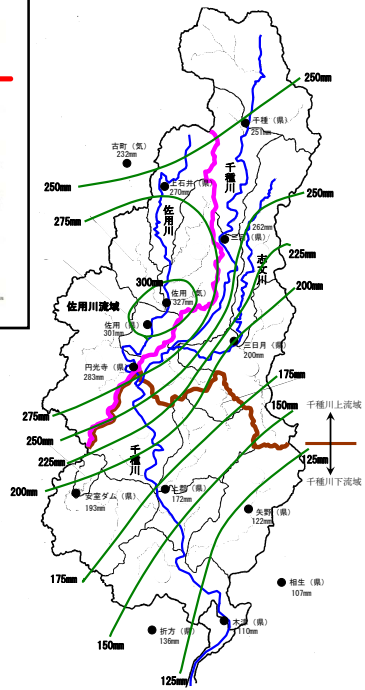
事業主体	兵庫県
事業区間	千種川 10.00 km
事業内容	河道掘削、築堤、護岸、橋梁、井堰等
事業期間	平成21年度～平成25年度の5ヶ年間
採択事業費	138億円

台風9号 気象概要

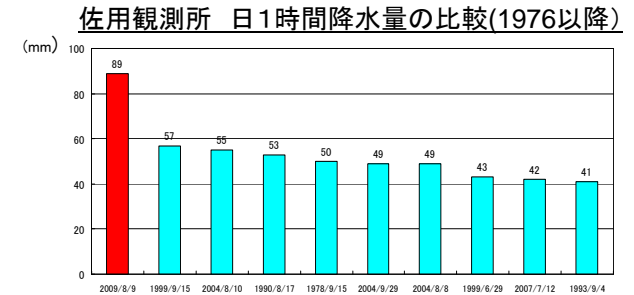
日本の南海上にある熱帯低気圧（後に台風9号）から暖かく湿った空気が、紀伊水道から近畿地方に流れ込み、兵庫県では非常に激しい降雨となった。8月9日の降り始めからの総雨量は、10日13時までで、佐用雨量観測所（佐用郡佐用町円応寺）で347mm、を記録。佐用川からの溢水により佐用町役場が浸水するなど、佐用町内で大きな被害が発生した。



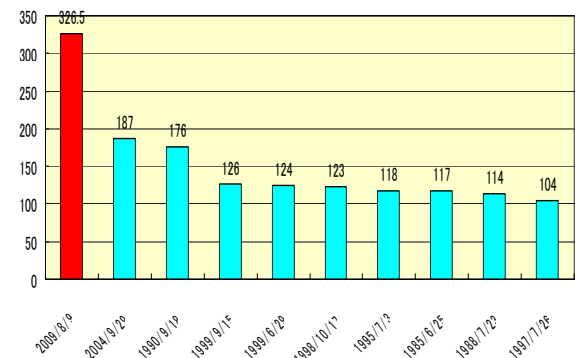
等雨量線平成21年8月9日～10日



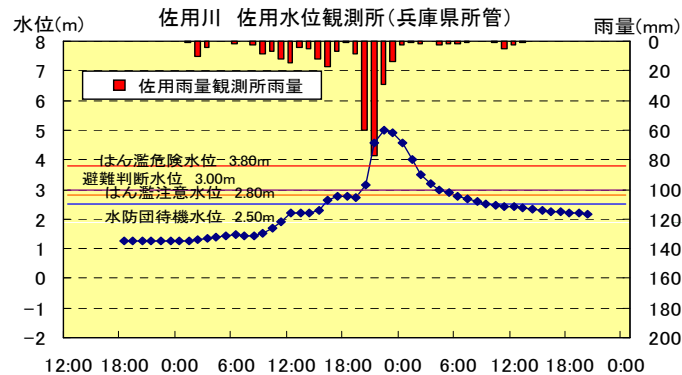
佐用川 佐用雨量観測所（気象庁）での観測雨量（速報値）



日降水量(mm) 佐用観測所 日降水量の比較(1976以降)



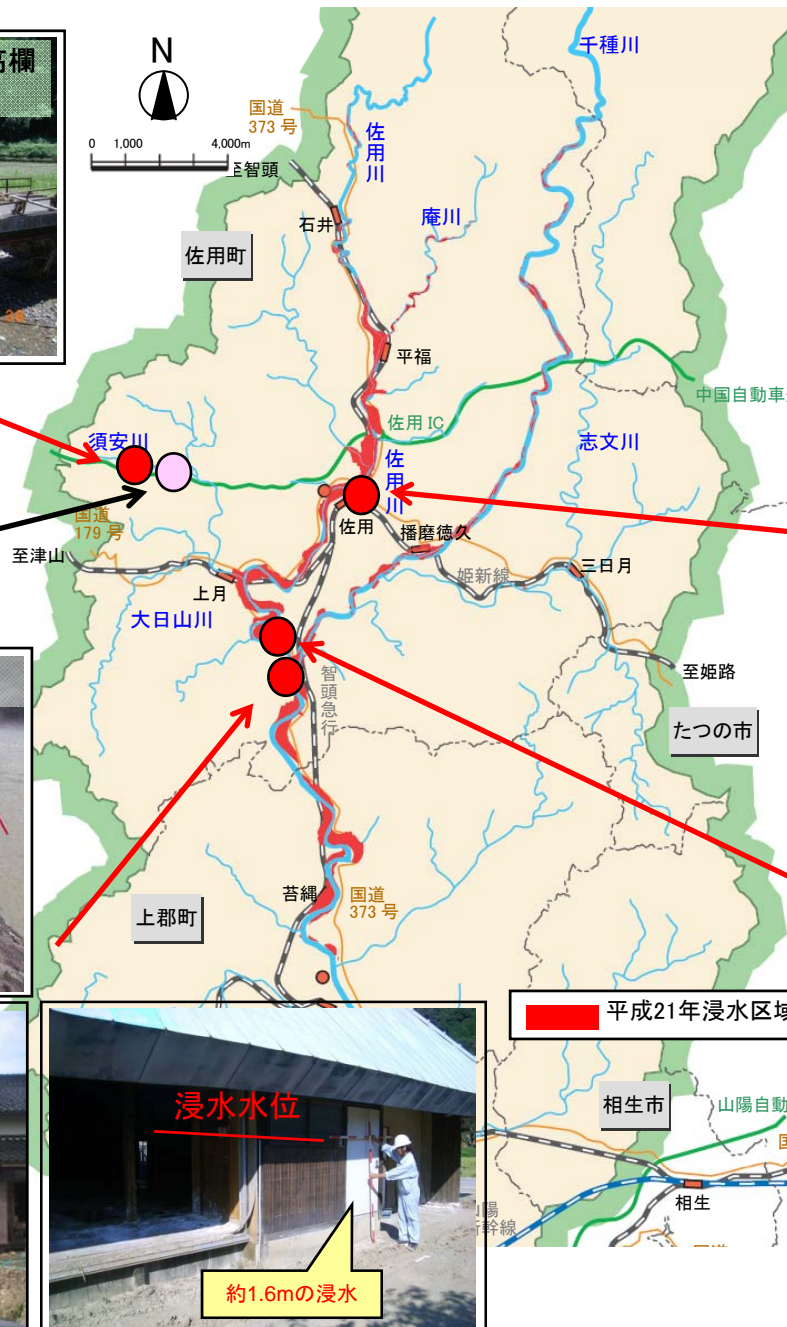
- 佐用雨量観測所での日最大1時間降水量、日降水量とも、**近年33年間で最大**を記録
- 時間最大 89mm(これまでの約1.6倍)
- 日最大 326.5mm(これまでの約1.7倍)



台風9号による被害状況



洪水が路面を乗り越え道路高欄に草木やゴミが付着



本郷地区(幕山川)水路に流され6名が死亡



越水で家屋倒壊



越水により家屋被害が発生(佐用川左岸 久崎地区)



浸水水位

約1.6mの浸水

佐用町被害状況

◆人的被害 (名)

死者	行方不明者	負傷者
18	2	1

◆住家被害 (棟)

全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水
136	259	481	160	742

※平成21年10月2日現在



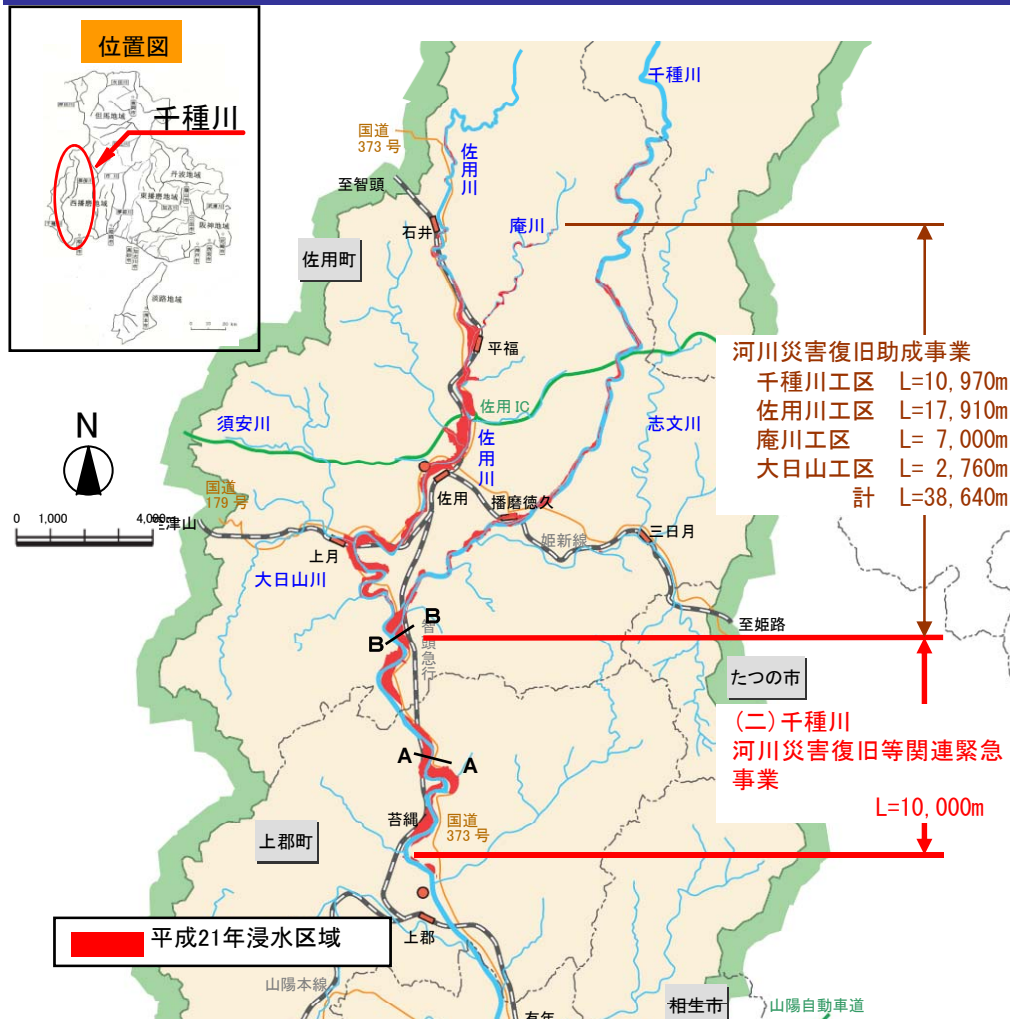
護岸の崩壊



洪水により高欄が流出

平成21年浸水区域

河川災害復旧助成事業 及び 河川災害復旧等関連緊急事業の概要



浸水被害の解消、軽減のため、平成25年度の完成を目指し、築堤・河道掘削・護岸・橋梁改築等を実施する。

【河川災害復旧助成事業】

目標とする整備流量

○千種川 2,200~530m³/sec

○佐用川 890~180m³/sec

○庵川 75m³/sec

○大日山川 340m³/sec

を達成するために改良復旧事業を実施

上流からの流量増加対策

【河川災害復旧等関連緊急事業】

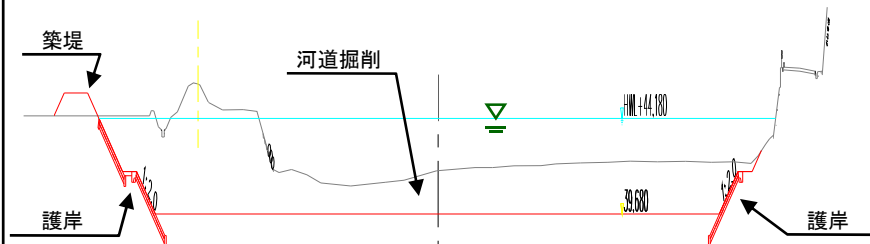
上流の助成事業と整合を図った整備流量

千種川 2,200m³/sec

を達成するため事業を実施

上下流の整備バランスに配慮した計画

<A-A: 河川災害復旧等関連緊急事業区間>



<B-B: 河川災害助成事業区間>

